

●ワークショップ【6月28日（日）13:15～15:45 札幌校2階教室】

WS I：小・中・高で楽しめる染色教材—玉ねぎの皮で染める—

担当：小松恵美子（藤女子大学）

趣旨：玉ねぎの皮を煮出して染色液を作り、輪ゴムで絞った布を染め、媒染で色の変化も楽しむ染色実習教材を体験します。染めたミニスカーフをお持ち帰りいただきます。

定員：30名（先着順）

申し込み方法：当日、受付でお申し込み下さい（エプロン、ハンドタオル持参が望ましい）。

材料費500円を当日徴収します。見学は自由です。

WS II：地域に根ざした住まい・暮らしの授業の提案—日本各地の住まいと北海道の住まいの違い—

担当：長谷川雅浩（北海道立北方建築総合研究所）

芝木美沙子（北海道教育大学旭川校）

佐々木貴子（北海道教育大学札幌校）

趣旨：日本の住まいの特徴、北海道の住まいの特徴、家造りを計画する時のポイントなどが体系的にまとめられたスライド教材を使用し、住まいの地域性や気候風土と暮らしの関係について学ぶ授業案を体験します。住居領域の資料として生かせるような教材を紹介します。

●資料展示【6月27日（土）、28日（日）の終日 札幌校2階教室】

○アイヌ衣装—樹皮衣と木綿衣—

展示品は、オヒョウやシナノキで作った樹皮衣（アツシ）2点と、木綿の布で作った木綿衣（ルウンペ、チヂリ）2点です。樹皮衣はアイヌ民族が日常的に身に付けていたもので、その後、本州から入ってきた木綿衣には、色布を貼り付けて構成された模様や刺繍が施されています。

○環境をテーマとした絵本

北海道東海大学の乾淑子さん所蔵の1000冊にも及ぶ「環境をテーマとした絵本」の中から、教材として入手しやすい絵本を選んで展示します。また、旭川市のイラストレーター黒瀬久子さんのアイヌ民族の伝統や文化をテーマにした創作絵本も同時に展示します。

○消費生活関連資料

国民生活センター、北海道立消費生活センターなどの協力を得て、契約・取引、安全、情報、環境等、最新の消費生活に関わる問題を知るとともに、家庭科の教材としても活用できる資料を展示します。

○北海道の農産物関連資料、北海道米の試食

JA北海道中央会の協力を得て、北海道の農産物に関する資料を展示します。また、北の大自然が育んだ安心で美味しいお米の試食もあります。

○北海道の家庭科関連教材

北海道立北方建築総合研究所、旭川市及び近郊の農業協同組合、上川支庁及び旭川市役所、男山酒作り資料館、日本醤油株式会社などから、北海道の衣食住の特色を知ることができ、また家庭科教材にも使用できる資料を展示します。